

◆ 花葉会賞受賞者紹介

鉢物・花壇苗を組み合わせた花き生産の拡大

長谷川 勲 氏

略歴

1951年 長谷川一郎さん（父は梨と米作の農家）の長男として生まれる
熊谷農業高校卒業
千葉大学 園芸学部別科 花き専攻修了

1971年 修了後直ちにガラス温室50坪（4間×12.5間）、ビニルハウス75坪（6間×12.5間）を近代化資金と後継者育成資金で275万を借り建設
シクラメン（5号、6号）、ペラルゴニウム、プリムラ・ポリアンサ、ゼラニウムの生産に入る

1973年 菖蒲町鉢物研究会を11人の生産者で設立、会長に

1975年 マーガレットを作目の一つの柱に
シクラメンは直売と市場出荷、他は市場出荷
市場出荷のものは品評会で金賞を受賞
良品生産者の一人に数えられていた

1978年 ガラス温室増設、パイプハウス新設
家業の父の梨畑をハウスに徐々に転換

1984年 ガラス温室増設
ポットガーベラを導入

1988年 パイプハウス増設

1990年 パンジーの生産をはじめる

1992年 エフクリーン温室増設
ポットガーベラで埋まる

1996年 1971年建設の施設をガラス温室に建て替え
現在では業者と提携して、パンジー16品種を11月と3月に生産

業績

市場出荷が80%で庭先販売20%
市場は東京日親西部、川口中央園芸
業者サニベルと組み、売店直接納入、主にパンジー
品評会金賞受賞多数

長谷川勲さんは、埼玉県菖蒲町で、梨と水稻を主作とする長谷川一郎さんの長男として1951年（昭和26年）に生まれる。

熊谷農業高校を卒業後、千葉大学園芸学部の別科で浅山英一先生や渡辺重吉郎先生のご指導を受けて修了し、1971年に実家の農業を継ぐために就農した。父の梨栽培は、年一作で自然災害の苦勞を見ており、自然災害の少ない施設での花きの生産にと、父の了解を得て、ガラス温室50坪（4間×12.5間）の1棟とビニルハウス（6間×12.5間）を近代化資金と後継者育成資金により建設して、シクラメン、ペラルゴニウム、プリムラ・ポリアンサの生産を軌道に乗せた。

販売は、シクラメンの20%を庭先で、他は市場出荷する手法で販売した。幸いなことに隣接する鴻巣市には産地市場が2社存在し、加須市にも1社があって出荷先の苦勞は少なかった。

1973年には、経営の中にゼラニウムを加えて、市場の高い評価を得た。

鉢物経営のための信頼と情報交換の必要性を感じとり、町内の若手鉢物生産者に呼びかけ、11人のメンバーで菖蒲町鉢物研究会を設立し、おされて会長職に就任した。

1975年には、マーガレットを導入して、人気を博し、市場側から頼りになる生産者の一人と評価されるとともに、市場や買参人との交流を密にしていた。

1978年には、ガラス温室（5間×10間の2連棟）100坪とパイプハウス50坪を建設して生産の拡大を図った。

1980年には、さらにパイプハウス50坪を増設して施設面積を325坪とした。

1984年には、ガラス温室（5間×12.5間の2連棟）125坪を増設した。

1990年よりパンジーの生産を販売店と直接手を組んで始める。

1992年には、エフクリーン温室（6間×12.5間の2連棟）150坪を増設して、ポットガーベラを導入して、当時の流行の波に乗った。

1996年、1971年に建設したガラス温室・ビニルハウスをガラス温室（6間×12.5間の2連棟）150坪に建て替え、パンジー16品種を11月と3月に分け、15万鉢を生産するとともに、オリヅルランを軸にした経営をしている。とくに近年はオリヅルランの需要が多く、生産が間に合わないほどともいわれている。

以上の施設建設の経過を第1表に示した。

また、施設の配置図を第1図に示した。

それぞれの施設の今年の利用計画を、図2～6に示した。

（文責：村井千里）

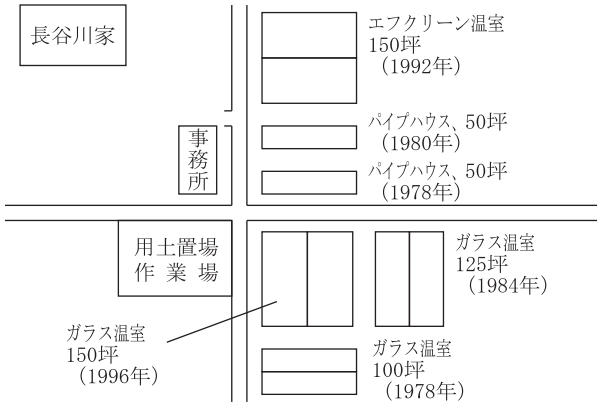
第1表 長谷川園芸の施設変遷

単位(坪)

年	施設	ガラス温室	エフクリーン温室	ビニルハウス	パイプハウス	施設計
1971		50(50)		75(75)		125
1978		150(100)		75	50(50)	275
1980		150		75	100(50)	325
1984		275(125)		75	100	450
1992		275	150(150)	75	100	600
1996		425(150)	150		100	675

注 1996年に1971年建設のガラス室、ビニルハウスを解体。
（ ）内は新設面積

第1図 長谷川農園施設の配置図（2019年現在）



第2図 1978年建設ガラス温室の作付計画

年度 月	2019年												2020年			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
ブラキカム 親株	鉢上げ			出荷					さし木				鉢上げ			出荷
ヒメフウロソウ 親株																
バンジー																

は種（ポットに直播）

第3図 1984年建設ガラス温室

年度 月	2019年												2020年			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
オリヅルラン 親株																

鉢上げは5号鉢に3株 輸送の便のためすべて5号仕上げ

第4図 エフグリーン温室の作付計画

年度 月	2019年												2020年			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
バンジー ピオラ																
ペチュニア																

第5図 1996年建設ガラス温室の作付計画

年度 月	2019年												2020年			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
ペチュニア																
ニチニチソウ																
シクラメン																
ミニシクラメン																

苗購入(沼田産) 仕上げ、鉢上げ(6号)
4号鉢、鉢上げ

第6図 パイプハウスの作付計画

年度 月	2019年												2020年			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
バンジー ピオラ																